

# 「観光産業の発展期待」

## 自民党・徳茂参院議員来島

旧郵政省出身で全国郵便局長会顧問などを務める、自民党参院議員の徳茂雅之氏(58)がこのほど奄美群島内



群島内の郵便局長らと来社した徳茂議員(左から4人目)

について触れたほか、島の地域に根差した郵便局の在り方などについて語った。

徳茂参院議員は大阪府の出身。1983年に旧郵政省に入省。各地の郵便局長や民営化した日本郵便近畿支社長などを歴任した後、2016年に退社し、同年7月の第24回参院議員選挙(比例代表)で初当選した。

今回、視察も含め群島内の郵便局長が対象の研修会に参加。国政についての報告のほか、郵便局の役割などについて講話したという。

自民党の奄美振興特別委員会(尾辻秀久委員長)の便で離島した。



議員)が取り組む活動にも関わった経緯も含め、初来島し感じた奄美の印象について「時間関係で自然を近く感じることはできなかった」が、「(自然は)奄美の財産。空港やホテルで観光客の多さに驚いた。観光産業の発展が地域振興につながる可能性を改めて感じた」と語った。

研修会を通し、奄美地域の郵便局の役割についても再確認したとし「地域、地域でつながっている。そこに住んでいる人たちに對する役割を大切にしながらはいけない」などと話した。徳茂議員は同日の便で離島した。